



プレスリリース: 2012年12月12日
トピック: ソフトウェア/ITサービス

サービスコンポーネントのシミュレーションテストを容易にする「HP Service Virtualization 2.3」日本語版を発表

- Webアプリケーション開発のテスト工程前倒しによる期間短縮、品質向上、コスト削減を実現 -

2012年12月12日

日本ヒューレット・パッカード株式会社

日本ヒューレット・パッカード株式会社(略称: 日本HP、本社: 東京都江東区、代表取締役 社長執行役員: 小出 伸一)は本日、サービスシミュレーションツール

「HP Service Virtualization 2.3」の日本語版を発表します。本製品は、Webアプリケーション開発のテスト工程において、サービスコンポーネントのシミュレーションを容易に実行できるツールです。これにより、Webアプリケーション開発におけるテスト期間の短縮、品質向上、およびコスト削減を実現します。

Webアプリケーション開発のテスト工程では、サービスコンポーネントの制約問題(課金対象サービス、開発中、アクセス制限など)によって、テスト環境が構築できない、またテストが制限されてしまうことがあるため、一般的に、サービスコンポーネントのシミュレーションツール(テストスタブ)を使ってテストが行われています。一方で、このシミュレーションツールを自社作成している企業では、「動的な応答ができず単なる固定応答レベルしか提供できない」、「作成に時間がかかりテスト開始が後退」、「インターフェイスの頻繁な改修により即座にテストに入れられない」といった課題を抱えているのが実状です。

このたび、日本HPでは、こうした課題を解決するため、「HP Service Virtualization 2.3」日本語版の提供を開始します。本製品では、日本語化された直感的なデザインインターフェイスにより、各サービスコンポーネントのシミュレーションテストを容易に行うことができます。SOAP、REST、JMSなど、メジャーなWebサービステクノロジーをすべてサポートしており、幅広いWebサービス環境のシミュレーションが可能です。また、テスト用のデータ設定を行うパラメータファイルとしてExcelファイルが利用できるほか、実際のサービスで利用されているトラフィックをキャプチャーする機能も実装しています。

なお、Webアプリケーションの開発担当者およびテスト担当者は、本製品を利用することで、シミュレーションツールを作成する作業負担から解放されるだけでなく、コンポーネント単位でテストの実施を前倒しできるため、早い段階でのバグ発見や修正が可能となるだけでなく、手戻りコストの削減に貢献します。さらに、Webアプリケーションで使われる各サービスコンポーネントの品質が保証されることで、品質リスクも軽減できます。

加えて、「HP Service Virtualization 2.3」は、日本HPの性能テストツール「HP LoadRunner」とも連携することができ、「HP LoadRunner」の管理画面から、負荷テスト時におけるシミュレーションツールのログや応答時間を確認することが可能です。これにより、負荷テスト担当者は、通常では難しい課金対象などの制約があるサービスコンポーネントについても容易に負荷テストを行うことが可能となり、性能ボトルネックの原因がアプリケーションなのか、サービスコンポーネントなのかを切り分けることができます。

本日発表の新製品は、以下の通りです。

製品名	希望小売価格	販売開始日
Service Virtualization Designer Seat User	1,678,950円 (税抜 1,599,000円)	12月12日
Service Virtualization Server Instance	50,400,000円 (税抜 48,000,000円)	12月12日

<「HP Service Virtualization 2.3」の特長>

「HP Service Virtualization 2.3」は、Webアプリケーション開発における、サービスコンポーネントのシミュレーションテストを簡単に行うことができるツールです。サービスコンポーネントのシミュレーションツールを作成・編集する「Service Virtualization Designer」と、作成したシミュレーションツールをサーバーにデプロイする「Service Virtualization Server」の2製品で構成されます。主な特長は以下の通りです。

<<Service Virtualization Designer>>

- 日本語化された直感的なインターフェイスで、GUI操作とプリセットの利用により簡単にシミュレーションツールを作成可能
- SOAP・REST・JMSなど全てのメジャーなWebサービステクノロジーをサポート

- ・データモデルのパラメータファイルとしてExcelファイル(InputデータとOutputの両方記載可能)が利用可能
- ・実際のトラフィックをリアルタイムに記録する機能を実装
- ・パフォーマンスモデルにより、CPU負荷やスループットなど、性能に影響のあるアイテムパラメータ調整しSLAシミュレーションが可能

《Service Virtualization Server》

- ・サーバーのサービスとして稼働し、多重スレッドによるシミュレーションが可能
- ・複数のサービスを同一サーバーで稼働可能なため、サーバー台数コストを削減

■新製品に関する製品情報は以下のURLを参照してください。

<http://www8.hp.com/jp/ja/software-solutions/software.html?compURI=1174233>

■日本HPプレスルーム

<http://www.hp.com/jp/pressroom/>

#

文中の社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

■お客様からのお問い合わせ先

(記事掲載時のお問い合わせ先もこちらでお願いいたします。)

カスタマー・インフォメーションセンター TEL: 03-5749-8291

ホームページ: <http://www.hp.com/jp/>
